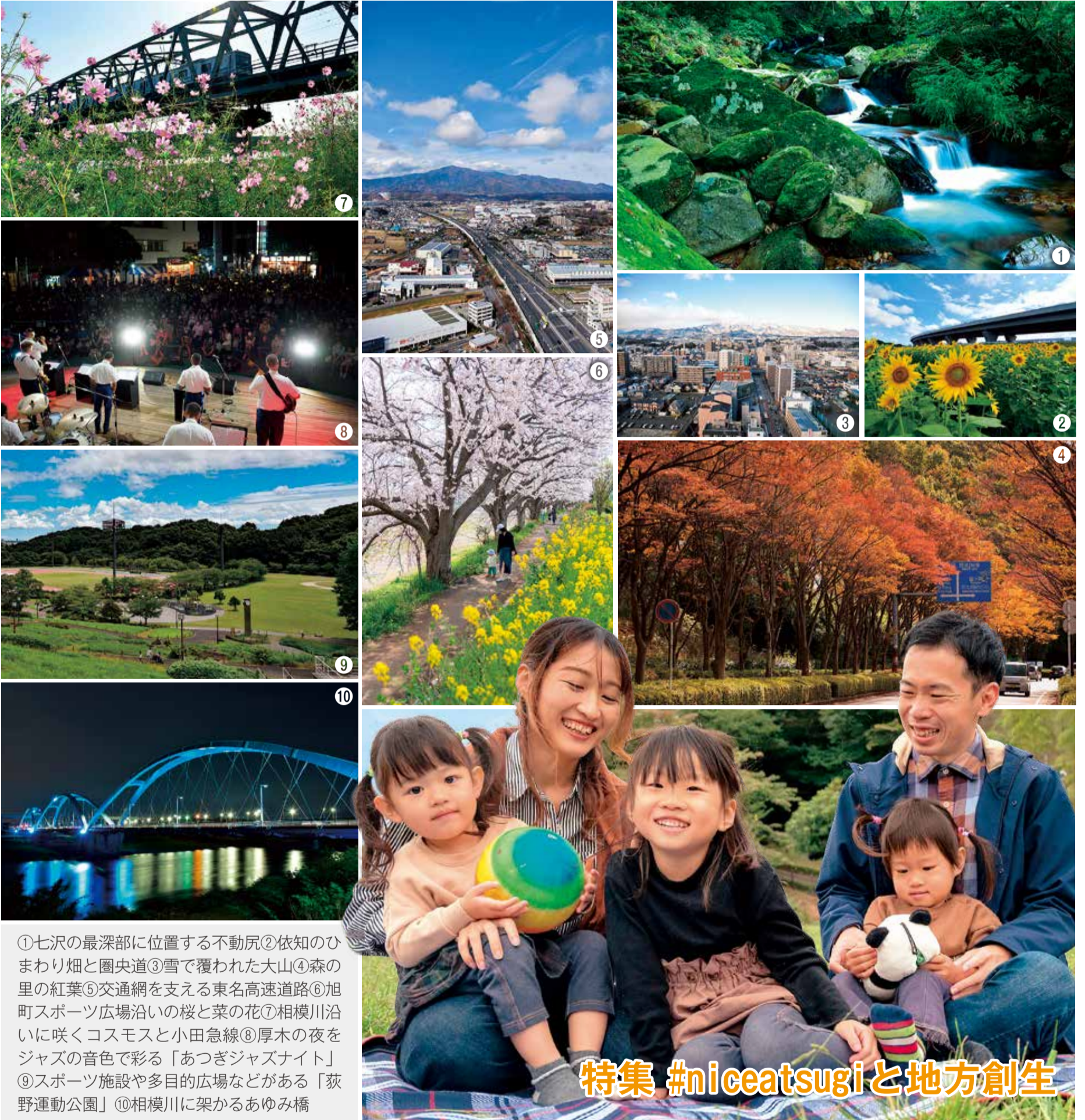


- 2-4 特集 #niceatsugiと地方創生
- 5 街の話題/コラム
- 6 地域を守る消防団員を募集
- 7,8 お知らせ



①七沢の最深部に位置する不動尻②依知のひまわり畑と圏央道③雪で覆われた大山④森の里の紅葉⑤交通網を支える東名高速道路⑥旭町スポーツ広場沿いの桜と菜の花⑦相模川沿いに咲くコスモスと小田急線⑧厚木の夜をジャズの音色で彩る「あつぎジャズナイト」⑨スポーツ施設や多目的広場などがある「荻野運動公園」⑩相模川に架かるあゆみ橋

## 特集 #niceatsugiと地方創生

あなたが思う  
厚木の魅力

少子高齢化や人口減少が進む今、「住んでみたい」と思えるまちであり続けるには何が必要でしょうか。

市では、将来見込まれる人口減少などに対応するため、地方創生に取り組んでいます。その一環として2019年に、皆さんが思う厚木の魅力を交流サイト（SNS）で発信するハッシュタグ「#niceatsugi」を作成（左欄参照）。投稿は徐々に増え、3年間で4万2000件を超えました。さらに、#niceatsugiを使う人同士の新たな交流も生まれ、まちのにぎわいにつながっています。

皆さんは、いつ、どんな時に厚木の魅力を感じますか。豊かな自然、便利なアクセス、子育てしやすい環境……。特集では、市内に移住した方などにまちでの生活や思いを聞き、地方創生に欠かせない要素や、私たちができる取り組みを考えました。

《2～4面に関連記事あり》

### 厚木の魅力を発信

## #niceatsugi

市民が発信者となり、まちの魅力を全国に伝え「住みたい・訪れたい」と思ってもらえるまちを目指して、市地方創生推進プロジェクトが作ったハッシュタグ（検索目印）です。InstagramやツイッターなどのSNSで、厚木の自然や日常の一コマなどを共有しています。

企画政策課 ☎225-2450

### 多くの人に厚木の良さを伝えたい

秋元 毅さん(44・林) 農園経営者



地元企業と協力し、飯山の農園で月に1回野菜や菓子、雑貨などを販売する「マルシェ」を開催しています。この場所に一年中人が来てほしい、良い物を作る農家をもっと知ってほしい思いから昨年11月に始めました。初め1日800人ほどだった来場者は、今では約2600人。市内だけでなく市外・県外から訪れる人もいます。物を販売するだけでなく、出店者と来場者や来場者同士が顔を合わせ、新しいつながりが持てる場になっています。私自身は20代の頃に横浜市から移住しましたが、自然豊かな厚木の良さにまだ気付いていない人も多いのではないのでしょうか。多くの人にその魅力を知ってもらうため、これからもマルシェを続けたいと思います。

### 子育てしやすい環境へ

高際 哲朗さん(33・船子) 鉄道関連会社員

子どもが生まれたことをきっかけに今年の3月に転入しました。引っ越しを考え始めた時には、各市町村の取り組みや住まい環境などの情報を事前に調べました。私たちの生活の中心は子育てだったので、おむつ支給などの手厚い支援や、子育て支援センター、大きな公園などがあり、環境が整っている厚木市に住むことを決めました。駅前には買い物する場所もあり、電車・バスのアクセスも良いので住みやすいです。休日は家族と市内で過ごすことが多く、楽しく子育てできています。

こんな制度を活用！  
若年世帯住宅取得支援事業補助金



妻の晴香さん、長男の浩都ちゃんと

## 移り住んだあつぎ

### 環境がいいから仕事も続けられる

瀬谷 侑希さん(25・寿町) 看護師



看護師として働くため、生まれ育った東北の故郷を離れました。インターネットで就職先を調べている時、「共働きで子育てしやすい街ランキング」で厚木市を日にしたのがこのまちを知ったきっかけです。インターンで他のまちにも行きましたが、都会過ぎず生活する上で必要なお店などがそろっている厚木市が一番住みやすそうと感じ、ここで働くことを決めました。住み始めて2年が経ちましたが、厚木市を選んで良かったと思っています。今は、街灯に照らされた夜の相模川沿いをゆっくりと散歩するのが楽しみです。環境がいいので休日はリフレッシュでき、仕事も充実しています。これからも長く住み続けたいです。

こんな制度を活用！  
看護職等転入奨励助成金



妻の優芳さん、長男の怜太ちゃん、次男の拓海ちゃんと

### 新しい地でのつながりを生かして

村田 真梨子 さん(32・関口) 飲食業



2019年に、結婚を機に。来てすぐ地域情報を発信する活動を、しと出会いました。以前から食に関心は、今は厚木発のクラブハーツなどの材料は、角を借りて栽培。開発動でつながりができ、厚木にわができたことで、

### ここを拠点に農業を続けるために

穂坂 紘志さん(31・長谷) 農家



地元は小田原市で就職を機に県外へ行きました。県内での就農を考える中、たまたま寄った厚木市に都市農業支援センターがありました。相談すると、育てたい野菜や畑の規模などが自分の理想と合ったため、ここで就農し、今はキャベツを中心に野菜を作っています。厚木市は高速道路のインターチェンジが多くて交通の便が良く、自然や温泉もあります。観光地と農業を結び付けられれば、もっとまちの魅力を生かせるのではないかと考えています。農業の支援センターがある厚木市は新規就農しやすい環境が整い、就農者が増えています。そういう人たちがこの先も続けられるように、支援内容や取り組みなど、支援センターと情報共有していきたいです。

こんな制度を活用！  
都市農業支援センターで新規就農相談

### 離れて実感したこのまちの良さ

新井 貴之さん(38・岡田) 高校教師

2年半前に地元へ戻ってきました。共働きで子育てと仕事を両立するため、親にサポートしてもらえよう実家の近くに移り住みました。すでに市外で住宅を購入していたので、引っ越しは悩みましたが、環境や子育て支援が良かったのと、住宅取得費用の補助が後押しになりました。親も孫にすぐ会えるようになり喜んでます。厚木市は鮎まつりやジャズナイト、大道芸などイベントが多く、家族で参加するのが楽しみです。こうしたまちのにぎわいも暮らしやすさにつながっていると思います。一度、市外に離れたからこそ、このまちの良さを再認識できました。

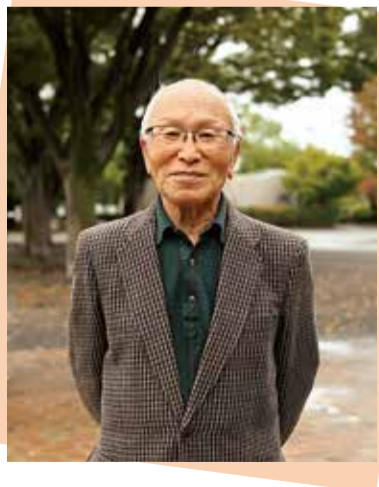
こんな制度を活用！  
親元近居・同居住宅取得等支援事業補助金

### 安心して住める第二のふるさと

岡本 秀夫さん(86・金田) 県人会会長

30代の頃、仕事の転勤で故郷の福岡県から関東に来ました。渋谷や相模原などを経て、厚木で暮らし始めたのは1983年からです。ここに住むのを決めたのは妻です。当時、渋滞が多いと聞いていた私は乗り気ではありませんでしたが、住んでみると山や川などの自然が近くにある良いまちだと分かり、今では妻に感謝しています。40年ほどここにはいますが、大きな災害もなく安心して暮らせることが魅力で、故郷にいる兄弟や市外から訪れた人にもそう伝えてます。

4月から、同郷の人で集まり交流や親睦を深める全国県人会連合会の会長を務め、市のイベントなどにも積極的に参加しています。日本各地から来た者同士でつながり、第二のふるさととして長く住むこのまちのためにできることを続けられるよう、健康で充実した日々を送りたいと思っています。



## 住みやすくあるために

- 子育て 紙おむつ 紙おむつ 子ども医療費助成 卒業までの子どもを対象に、健康保険適用医療費負担額を助成 **子育て給付課 ☎225-2230**
- 労働 看護職等 看護職・《助成額》 農業支援 都市農業 鳥獣被害 業支援センターによる新規就農や農地の有効利用、対策などの相談 **都市農業支援センター ☎221-5511**
- などの支給 つ、おしりふきなどを毎月1回自宅に配達 **療費助成**
- 転入奨励助成金 歯科衛生士などの方に転入費用の一部を助成 転入費用20万円 **健康長寿推進課 ☎225-2174**

市では暮らしやすいまちを目指し、子育て・定住・労働などさまざまな支援に取り組み、その内容を市HPでお知らせしています。

- 定住 親元近居・同居住宅取得等支援事業補助金 市外に1年以上居住の子世帯が、市内に1年以上住む親世帯と近居・同居を始める際に、住宅取得・改修費用の一部を補助 **《補助額》住宅取得・近居は40万円、同居は60万円。住宅改修は経費の10分の1(上限20万円)。いずれも加算あり** **若年世帯住宅取得支援事業補助金** 転入または市内に居住する子育て中の若年世帯が住宅を新築・購入する場合に取得費用の一部を補助 **《補助額》20万円(加算あり)** **住宅課 ☎225-2330**

厚木市 移住・定住

厚木で暮らそう 厚木市の定住ポータルサイト

その他支援や詳細は市HPに掲載 ▶

### 特集 #niceatsugiと地方創生

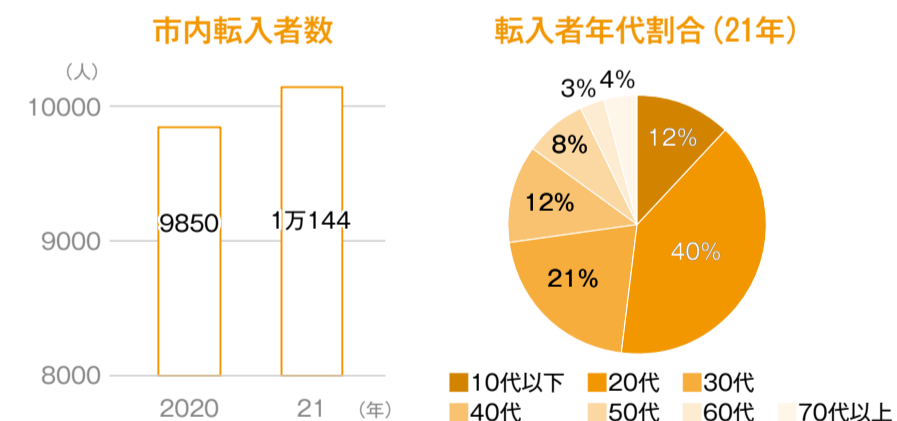
# このまちで暮らす

住みたい・住み続けたいまちであり続けるため、市では魅力発信や転入・定住に向けた支援に取り組んでいます。そんな中、厚木を選び、移り住んだ方たちに、このまちでの生活や思いを聞きました。

### 地方創生Q&A

- Q.「地方創生」って何？  
A.全国的な出生率の低下や人口一極集中を是正し、人口減少を和らげる取り組みです。
- Q.なぜ地方の人口増加が必要？  
A.地方の人口が減ると商業施設や医療機関、公共交通などが経営を維持できず、撤退せざるを得なくなります。不便さから人口が1カ所に集中すると、将来的に医療・福祉資源などが不足してしまいます。あらゆる人が不便なく暮らし続けるためには、地方が人口・経済などの活力を保ち続けることが必要です。市では2016年に「地方創生推進プロジェクト」を始動し、市の魅力発信・定住促進事業を実施しています。
- Q.一人一人にできることは？  
A.市の魅力を多くの人に共有することが、市の人口増加につながります。#niceatsugiを使って発信したり、知人に話したりすることが、気軽に行えることの一つです。

企画政策課 ☎225-2450



特集 #niceatsugiと地方創生

# 共に創る未来のあつぎ

これから先も厚木が活力あるまちであり続けるためには、魅力を発信し、地域への愛着を多くの人に持ってもらうことが大切です。情報を伝える重要性や私たち一人一人にできることを、自治体・地域政策を研究する牧瀬稔先生に伺いました。

## まちへの愛着が地域を活性化

戦後から社会が成熟してある程度安心して生きられるようになった現代、社会問題は多様化し、行政だけでは対応が立ち行かない時代がやってきます。今後は住民や企業、大学などと一緒にまちづくりをしていく必要があります。特に「地方創生」の実現、つまり人口減少の克服と地域経済の活性化は喫緊の課題です。

地域が元気であり続けるためには、住民がシビックプライド（まちへの愛着や誇り、自負心）を持つことが第一歩です。シビックプライドが高い地域ほどUターンが多い、生活の満足度が高いなどの研究結果が出ており、まちのファンを増やすことが地域活性化

の種となり得ることが分かります。

## 情報の「共有」から「共感」へ

「#niceatsugi」は、市の情報を共有し、知る人や愛着を持つ人を増やす良い手段です。活力あるまちには「シビックプライド」を持ち、地域づくりに活動する人（活動人口）が不可欠ですが、まずは多くの人にまちの魅力を知らせてもらうことが、活動人口を増やす入り口になります。

住民に市の魅力、ひいては課題や目標が共有され、口コミなどで広がれば、ゆくゆくは共感に変わり、市と同じ課題を見つめ、解決に向けて取り組みきつかけになります。共感する市民が増えれば、行政と「共創」でまちづく

## 「共創」のまちを目指して

「行政と一緒にまちづくりをしましょう」というのは、ほとんどの人にとってはハードルが高いものだと思います。しかし、快適に暮らし続けるには人口減少を和らげる必要があります。そのためには行政と住民の共創が不可欠です。

まずはハッシュタグを使って、簡単にできる「共有」から始めてみるのが良いかもしれません。そして徐々に時間と移動が必要なイベント参加や、もっとできそうなら市民協働提案事業と、自分にもできることを考えてみてほしいと思います。



牧瀬 稔 さん (48)

【プロフィール】 関東学院大学法学部准教授。市自治基本条例推進委員長などを務める。専門は自治体政策学、地域政策。

## 共創へのステップ

さまざまな自治体の取り組みを見ていると、「共創」に一足飛びで進もうとしているように見える事例があります。「共感」がなければ「共創」はなく、「共感」のためには「共有」が必要です。まずは簡単にできることから始めてみてはいかがでしょうか。

(牧瀬先生)

### STEP1 共有

#### 情報を多くの人に伝える

- SNSで#niceatsugiを使い情報発信
- 友人などに地域の魅力を話す

### STEP2 共感

#### 魅力や課題などを深く知る

- 地域のイベントに足を運ぶ
- 直接見聞きして、魅力や課題を知る

### STEP3 共創

#### 愛着を持ちまちづくりに参画

- 自分たちの地域を良くするために行動に移す
- 行政と協働でまちづくりに取り組む

## 明るく楽しい地下道のフェスティバル

11月  
12・13日

# CHiKaフェス2022

## #niceatsugiパーティ

《場所》 本厚木駅前東口地下道

あつき 元気Wave  
11/1~CATVで放送

地下道がにぎやかな空間に変わる「CHiKaフェス」を3年ぶりに開催します。今年は「#niceatsugiパーティ」も仲間入り。楽しい地下に遊びに来ませんか。

☎企画政策課 ☎225-2450



### ■厚木ハンドメイドマーケット



手作り雑貨の販売会、子ども向けのワークショップなど

### ■けん玉教室



初心者から上級者まで楽しめるけん玉教室

### ■#niceatsugiパーティ



#niceatsugiユーザーが集うパーティー。フォトスポットやブースで交流できる

- 巨大フォトスポット
- 交流ブース
- 展示・休憩スペース

### ■障がい者手作り製品即売会



バッグなどの織物やあゆコロちゃんグッズなど、手作り製品の即売会

### ■ラジコン広場



カメラを付けた小型ラジコンの操作や、ドローン体験など



他にも大道芸人のパフォーマンスやアートなど、催しが盛りだくさん

### STOP 交通事故

#### 市内15地区で交通事故防止を呼び掛け



本厚木駅南口でチラシを手渡す参加者

「秋の全国交通安全運動」に合わせ、市内15地区に民間交通監視所が設置されました。自治会や交通関係団体などから参加した約200人が、通行人らに事故防止を呼び掛けました。

監視所は、感染症の影響で3年ぶりに設置されました。参加者は、「自転車も守ろう 交通ルール」「交通事故ゼロを目指そう」と書かれたのぼりや看板を掲出。信号待ちをしている歩行者などに、事故防止を呼び掛けるチラシや、夜間に車の光を反射するストラップなどの啓発物品を手渡しました。

自治会長の水島達雄さん(78・旭町)は「皆さんに交通安全の意識を高めてもらうための活動は大切。活動を通じて少しでも事故が減らせれば」と話していました。



### 身近な生き物で命の尊さを学ぶ

#### あつぎ郷土博物館でバッタ展始まる

企画展は、昆虫が専門の博物館学芸員が担当。身近なのにあまり着目されないバッタを紹介すること、子どもたちに命の尊さや環境の大切さを考えてもらうために実施しました。期間中は、学芸員と博物館周辺でバッタを探しながら解説を聞く催しなども行われ、多くの親子連れなどが参加しました。



巨大なバッタの模型がお出迎え

あつぎ郷土博物館で12月4日まで、企画展「バッタ・はねる、飛ぶだけじゃない、バッタの魅力」が開催されています。会場には、巨大なトノサマバッタの模型や、市内をはじめ、友好都市の秋田県横手市・北海道網走市・沖縄県糸満市に生息するバッタの標本、おもちゃや書籍などが並び、来場者を楽しませています。

### 楽しみながらSDGsを自分ごとに

#### あつぎSDGsフェスティバルを初開催

持続可能な開発目標「SDGs」を身近に感じてもらおうイベントを、あつぎ市民交流プラザで開催しました。会場には親子連れなどが訪れ、市、市内事業者、大学が設置した体験コーナーや展示を楽しみながらSDGsを学びました。

イベントはSDGsを自分ごとと捉えてもらうために開催。家電製品の消費電力を測るコーナーや、市が導入したスマートフォンアプリ「まちのコイン・アユモ」の体験コーナーなどを設置しました。神奈川工科大学の学生によるSDGsを学ぶすごろくでは、多くの子どもが楽しんでいました。

会場では、「あつぎSDGsパートナー」の登録式も開催。市内65の企業・団体・教育機関などに、小林常良市長が登録証を手渡しました。



あつぎSDGsパートナーの登録式

### 伝統文化に親しむ秋の一日

#### 市指定有形文化財の一般公開と稚児行列を実施

妻田薬師にある市指定の有形文化財「木造薬師如来坐像」が12年に1度の半開帳を迎え、文化財に親しむ催しが開催されました。子どももの無病息災を願う「稚児行列」も実施され、約170人が地域を練り歩きました。

薬師堂の扉が開かれると、厨子や木造十二神将立像などの文化財が披露目されました。観光ボランティアガイド協会が歴史や意味を解説し、来場者は真剣に聞き入っていました。稚児行列では、鮮やかな衣装をまとった子どもたちが、市場公園から妻田薬師までの約1.5キロを歩きました。子どもたちは「きれいな衣装を着られてうれしかった」「衣装が思った以上に重くて疲れたけど楽しかった」などと話していました。



小雨が降る中、妻田薬師に向かう稚児行列



### 第13回 みんなで! SDGs

SDGs (持続可能な開発目標) の実現のために設定された17の目標を知り、できることから実践しませんか。

**目標10 人や国の不平等をなくそう**

世界では、生まれた国、人種、民族、性別、宗教、障がいの有無などにより、経済格差や不平等が生じています。不平等をなくし、誰もが幸せに暮らせる世界を目指しましょう。

10 人や国の不平等をなくそう

#### できる取り組みは?

##### 他者理解を深める

個人ができる取り組みとして、まずは他人の異なる価値観や人間性、考え方を理解することが挙げられます。自分と周りの人を比べると、必ず違いがあります。他者理解を深め、自分との違いを尊重できるようになることが、差別、不平等をなくすことにつながります。



##### 困っている人への声掛けやボランティア活動への参加

困っている人がいれば、手伝えることがないか声を掛けることも、個人でできる取り組みです。不平等は目に見えないものもたくさんありますが、まずはできる範囲から取り組んでみましょう。

この道を行けばどうなるものか。座架依橋から中三田に続く陸橋の先に、新たな道が姿を見せています。

県道42号(藤沢座間厚木)の延伸道路で、2026年度までに下荻野の県道63号(相模原大磯)に接続予定。荻野から依知や座間方面へのアクセスを高めることが期待されています。

複数の高速道路や国道を抱える厚木市は、古くから交通の要衝として栄えてきました。さらなる道路交通

新しい道の先には、市民の皆さんの便利な生活が広がります。企業誘致にもつながり、まちの価値も高めてくれます。魅力的なまちをつくるため、市道の整備はもちろん、国道・県道の整備にも協力や要望をしていき、全国に誇れる道路ネットワークの構築を進めてまいります。



厚木土木事務所から県道整備の状況を確認

現在は早期開通に向け、埋蔵文化財調査、中津川橋梁下部や地盤改良の工事などを進めています。

網の充実に向け、国が進める厚木秦野道路の早期整備も後押し。国に代行して用地を取得する制度を関東で初めて活用し、圏央道から飯山に整備される(仮称)厚木北インターチェンジまでの先行整備区間で約7割の買収が終わっています。

Zoom Up

身近な場所で火災や災害に備える

# 地域を守る消防団員を募集

消防団は、「自分たちのまちは自分たちで守る」という思いの下、地域住民で組織されています。火災や災害の発生に備えて訓練し、いざというときは現場に駆け付け、消防職員と連携し活動します。地域のために皆さんの力を生かしてみませんか。

火災や災害は突然発生し、私たちの暮らしを脅かします。そんな時に頼れる最も身近な存在が、地域ごとに組織されている消防団です。しかし、消防団員の数は全国的に減少傾向にあり、ここ10年で7万人も減っています。市内では510人が地域のために活動していますが、団員の確保は急務です。

## 地域を守る責任を持つて

市内では、8分団が組織されています。団員たちは、仕事を持ちながら月に2回程度集まり、訓練や資機材の点検、巡回パトロールなどを実施。管轄

の地区で火災などが起きると、通報を受けて出動し、消防職員と共に消火や救助活動に当たります。第2分団第8部の飛鳥田雄部長（41・金田）は「活動を続けるうちに、団員や住民とのつながりが強くなり、地域を守る責任感も増している」と力を込めます。

## 女性消防団や学生も活動

市内で活動する消防団員は18〜62歳で、女性や学生もいます。2005年に発足した女性消防団には7人が所属。火災を防ぐための啓発や、応急手

## 安心して暮らせるまちに

いざというときに迅速に対応するには、消防職員と消防団との連携強化が欠かせません。消防本部では、合同訓練や研修などを定期的を実施しています。地域を守るために、力を合わせて取り組んでいきましょう。

消防総務課 ☎223-9366



### 消防団の主な活動

【一般団員】消火・救助・水防活動、避難支援、放水訓練、警戒パトロール、資機材点検など

【女性団員】火災予防などの広報活動、応急手当ての普及・啓発、消防訓練、資機材点検など

【対象・任期】市内在住在勤在学の18歳以上（1期2年）

【報酬など】出動手当、公務災害補償、退職報奨金、被服貸与など

関心のある方は消防総務課に問い合わせください。

☎消防総務課 ☎223-9366

### 11月9～15日 秋の火災予防運動

スローガン「お出かけは マスク戸締り 火の用心」乾燥で火災が起きやすい季節です。火災に気を付けましょう。11月9日、7時から試験のためサイレンを鳴らします。☎予防課 ☎223-9371



## いざというときに備えて 普通救命講習会

### 受講者募集

急な心肺停止などの際、周りにいる人の迅速な対応が命を救います。応急手当てやAEDの使い方などを学んでみませんか。

#### ■応急手当普及員再講習会

日時 11月26日 9～12時

内容 応急手当普及員の有効期限の更新や技能の維持・向上のための講習

対象 有効期限（3年）内で市内在住在勤在学の応急手当普及員15人

費用 3960円（テキスト代）

#### ■普通救命講習会

日時 12月2日 9～12時

内容 応急手当の重要性、心肺蘇生法、自動体外式除細動器（AED）の取り扱いなど

対象 市内在住在勤在学の中学生以上15人

費用 無料

いずれも消防本部。☎11月1～9日に救急救命課へ。抽選。☎

☎救急救命課 ☎223-9365



## 新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種情報

情報は10月20日時点

接種券が手元にあり希望する方は予約してください。インフルエンザワクチンと同時接種が可能です。

#### ■オミクロン株対応ワクチン接種

《対象》12歳以上で初回接種を終え、最終接種日から3カ月経過した方

#### 《ワクチンの種類》

個別接種 ファイザー社製

集団接種 ファイザー社製・モデルナ社製

※予約方法や実施医療機関、接種券の発送時期など詳細は市HPに掲載

#### ■5～11歳の1～3回目接種

市内・愛川町の19医療機関で実施

#### ■6カ月～4歳の初回接種

市内・愛川町の16医療機関で実施。3週間後に2回目、8週間後に3回目を接種（1回目は1月15日まで）

#### 《接種券》11月上旬に発送

#### ■12歳以上で初回接種を終えていない方

個別接種で実施中。希望する方は早めに接種してください



オミクロン株対応ワクチン接種



初回接種

☎ワクチン接種コールセンター ☎0570-054-666

# タウンガイド

11月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号  
 ☎=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ  
 📍=講座予約システム(インターネットで申し込み可)  
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

## あつぎのしゃしん。



「秋の訪れ」

#10月17日撮影  
 #厚木中央公園  
 #紅葉シーズン  
 #niceatsugi  
 市公式Instagramで公開中



## あつぎイルミネーション2022

あつき 元気Wave  
11/1~CATVで放送

青・金色をメインとしたイルミネーションで冬の夜を明るく彩ります。

点灯期間 2月14日まで  
16時30分~24時

場所 本厚木駅北口・南口前

☎商業にぎわい課 ☎225-2840

学校閉庁日、年末年始は休所《費用》育成料=月額4000円(18時まで)、4800円(19時まで)。クラブ費=月額3500円(おやつ代、教材費他)。☑子ども育成課や児童クラブ、市HPなどにある申請書と必要書類を、郵送で11月21日~12月2日(消印有効)に〒243-8511子ども育成課 ☎225-2582へ。



## 久保奨学金の奨学生を募集

高校などへの入学費用を支援する入学準備奨学金と、修学費用を支援する高校等修学奨学金の希望者を募集します。

《対象》①修学への意欲がある②経済的な理由で修学が困難③学業成績が優秀—の全てを満たす市内在住の中学3年生(2023年4月に高校などへ入学予定)20人。☑市立中学校から配布されるチラシを確認し、11月15日までに担任の先生へ申請書を提出。市立中学校以外の方は教育総務課 ☎225-2600へ。選考あり。

## 給与支払報告書などの配布

11月15日から給与支払報告書の総括表や個人別明細書などを配布します。

《配布場所》市民税課《対象》事業所や事業主の方。☎市民税課 ☎225-2011。

## 厚木市・愛川町・清川村での住民票の写しの広域交付事業の終了

愛川町・清川村役場での住民票の写しの相互交付を12月28日で終了します。今後はマイナンバーカードを使うコンビニ交付を利用してください。☎市民課 ☎225-2110。

## 生産緑地地区変更に伴う都市計画変更案の縦覧と意見書の受け付け

《閲覧期間》11月9~24日(土・日曜、祝日を除く)《縦覧場所》都市

計画課《意見書提出》直接または郵送、ファクス、Eメールで、11月24日(必着)までに〒243-8511都市計画課 ☎225-2401・☎222-8792・✉4600@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

## 教育委員会委員の任命

教育委員会委員の任期満了に伴い、10月16日付けで山本正彦氏(56)を任命しました。☎教育総務課 ☎225-2600。

## 教育委員会点検評価報告書を作成

教育委員会の取り組みに対し、学識経験者などからの意見をまとめた報告書を作りました。点検評価の対象は、2021年度に実施した69事業です。報告書は市HPや市政情報コーナーで見られます。☎教育総務課 ☎225-2663。

## 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金

《対象》①9月30日時点で世帯全員の2022年度住民税均等割が非課税②予期せず家計が急変し住民税非課税相当—のいずれかの世帯(課税者の扶養親族を除く)《支給額》1世帯5万円。☑①10月27日に発送する確認書②市HPにある申請書と必要書類を、郵送で1月31日(必着)までに〒243-8511生活福祉課緊急支援給付金担当 ☎225-2384へ。詳しくは市HPに掲載。



## 《意見交換会》

### ■住生活基本計画改定

《日時》11月15日、19~20時《場所》市役所第二庁舎。☑当日直接会場へ。☎住宅課 ☎225-2330。

## 全国瞬時警報システム(Jアラート)全国一斉情報伝達試験

Jアラートの確認のため、防災行政無線で試験放送を実施します。

日時 11月16日 11時~

※気象状況により中止の場合あり。

☎危機管理課 ☎225-2190

## 新型コロナウイルス感染症に関する県の相談窓口

### 新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル(24時間対応)

感染の不安がある方、健康・医療の相談、診療ができる医療機関の案内など

☎0570-056-774

新型コロナウイルスの影響で掲載の催しが中止となる場合や、利用に制限のある施設があります。市HPで随時お知らせします。

## 第50回記念 相模人形芝居大会

2月12日、12時~16時15分。文化会館。国の重要無形民俗文化財である相模人形芝居を長谷座・林座などが披露。徳島県から阿波人形浄瑠璃平成座が特別出演。定員1400人。無料。☑往復ハガキに〒住所、参加者氏名・人数(2人まで)、電話番号を書き、1月10日(消印有効)までに〒243-8511文化財保護課 ☎225-2509へ。抽選。

## 斎場施設見学会

11月22日、10時30分~12時。市斎場。施設見学と葬儀の説明。定員30人。無料。☑11月1~21日に市斎場 ☎281-8595へ。先着順。

## 紅葉の写真展の作品を募集

市内の公園や緑地などで撮影した、モミジや紅葉した植物などの写真を募集します。応募者の中から抽選で花と緑のギフト券を10人にプレゼント。☑12月28日までにカメラやスマートフォンなどで撮影した写真をEメールで公園緑地課 ☎225-2412・✉4800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。作品は市HPに掲載。



## 地域の伝統「郷土芸能学校 相模人形芝居」受講生募集

第1期長谷座=①12月3・10日、10時~。南毛利公民館②1月14・21日、14時~。あつぎ市民交流プラザ。第2期林座=③1月28日、2月4日。14時~。あつぎ市民交流プラザ④3月4・11日、10時~。睦合西公民館。各回120分。市内で相模人形芝居の伝統を受け継ぐ団体から操作方法などを学ぶ。各回10人。無料。☑①11月15日②③12月15日④2月15日までに文化財保護課 ☎225-2509へ。抽選。📍

## あつぎレガシープロジェクト「FLY TO NZ PROJECT in Auckland 2023」参加者募集

3月11~25日(13泊15日)。ニュージーランドへの短期留学。市内在住の高校生10人。40万円(旅費、学費他)。☑12月2日までに市HPから申し込み。11月16日、19時45分~20時45分にあつぎ市民交流プラザで事前説明会あり。☎企画政策課 ☎225-2050。選考あり。

## 2023年度の放課後児童クラブ入所児童を募集

《対象》①各学区内の小学生②保護者全員が就労(15時以降までの勤務)や疾病などで放課後に適切な保育ができない③保護者などが19時までに迎えに来られない—の全てを満たす児童《時間》平日(学校休業日を除く)=放課後~19時。土曜、長期休業日など=7時30分~19時。日曜、祝日、夏休み中の

## 10月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆私が中学生の頃はおいしい給食の記憶がないので、今の子どもは温かい給食を食べられて幸せだと思う/70代以上男性 ◆対象地区ではないが、家庭ごみを考える機会になった/30代女性 ◆自宅で行政手続きができるのは本当に便利で助かる/50代女性 ◆給食が単なる学校での昼食ではなく、地域と深く結び付いていることが分かった/60代男性 ◆3年ぶりに開催される鮎まつりが楽しみ/40代女性

## インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集

厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課 ☎225-2043

## 編集後記


マップの写真を提供していただき、ありがとうございました!どの投稿もすてきでもっと掲載したかったのですが、スペースの都合で泣く泣く厳選。載せられなかった写真は12・13日の#niceatsugiパーティで展示予定です。パーティは、ネット上でつながる方同士が対面で交流する「オフ会」をイメージしています。ご時世もあり、無事開催できるか緊張しますが、楽しかった!と思ってもらえるよう頑張ります/水野

[開催日時]

11月12日  
13日  
11~18時

にぎわい爆発!  
あつぎ  
国際

# 大道芸

心躍るパフォーマンスが間近で見られる催しが3年ぶりに帰ってきます。世界中で活躍するアーティストなど総勢30組が厚木のまちを盛り上げます。  商業にぎわい課 ☎225-2840

## 会場案内



### 大道芸関連イベント

- ① まち元気物産フェア  
あつぎ技能祭
- ② あつぎグルメフェア
- ③ スーパーキッズランド


### 同時開催イベント

- ④ CHiKaフェス
- ⑤ 南口ホコ天まつり (12日のみ)
- ⑥ 厚木消防団ふれあい広場 (13日のみ)

### 【感染対策のお願い】

- ・観覧の際はマスクを着用
- ・間隔を空け声援は拍手で
- ・飲食は決められた場所で



 インフォメーションでパンフレットを配布



11月5日開催

延期となっていた鮎まつり。感染症に気を付けながら楽しみましょう。

 観光振興課 ☎225-2820

## あつぎ 鮎まつり

### 大花火大会のお知らせ

《時間》18~19時  
《場所》相模川三川合流点

感染を避けるために

- ① インターネットでも花火が見られます



詳細はこちら

- ② 市HPから会場の混雑状況を確認できます



詳細はこちら

## 自然歳時記

### ● ハナタデと水玉 ● タデ科

ハナタデは、山野の林縁などで見掛ける。花期は8~10月ごろだが遅れて咲く花も見られる。高さ30~60cmの1年草。花は桃色で小さいが、ルーペで見ると美しい。上依知の段丘崖で見つけた。写真・文/吉田文雄



雨上がりの段丘面を見ていると、枯れ草に羽がボロボロのアキアカネがいた。カメラを用意して近づくと、ふわっと飛んで行った。意外と元気な様子にほっとした。

枯れ草のそばに薄い桃色のハナタデが咲いていて、小さいけれど美しかった。まだ咲かないつぼみを見る

とそれぞれ違った大きさの水玉が下がっていた。何げなく写した写真を見ると、水玉はレンズの役目をし、倒立した美しい像が見えた。

風が少し吹くと、水玉ははかなく揺れ落ちてしまった。トンボは写せなかったけれど、自然の織りなす不思議な美しさに触れ感無量だった。

厚木市の人口  
(10月1日現在)



世帯数 10万3411世帯 (前月比83世帯増)



22万4095人 (前月比増減なし) 男11万5378人・女10万8717人